

ジュンス(P)さんのブギウギピアノ

今日は、ジュンス(P)さんが学校に来てくれて、ブギウギピアノを演奏してくれました。「左手は同じリズムで、右手は何でもひいていいんだ」と言っていて、見ていると、確かに左手はずっと同じ所をひいていました。複雑な手の動きや、足で大きくリズムをとってはおどろきました。1曲ひいた後は、ハアハアしていたので相当疲れるんだなと思いました。ブギウギピアノは、とてもリズムが良く、はずんでいような感じで、思わず聞き入ってしまいました。何だか自然に楽しいふんいきになっていきました。それに、伊与喜小の校歌もブギウギバージョンにしてひいてくれたので、ぼくはでっかい声を出して校歌を歌いました。ブギウギバージョンの校歌が歌えると思わなかったのです。とてもうれしかったです。最後に、ぼくが花束を渡す時、セリフを忘れてしまって、「心がおどる演奏をありがとう」といい、何とか乗りこえてわたしたら、「今日のMVPです！」と言って、あくしゅまでしてくれました。

(伊与喜小学校 6年 生駒 友希)



人権コンサートで想いごと

1月26日は人権教育参観日でした。6時間目に人権コンサートがありました。弓削田健介さんのコンサートです。ぼくが一番心に残っている言葉は、「あなたがくだらないと思っている今日は、昨日亡くなった人がどうしても生きてかった今日」という言葉です。ぼくは、弓削田さんのこの言葉や、やさしい歌声をききながら、大好きなお父さんとの日々を思い出していました。お父さんは、手術をして今、高知の病院にいます。手術は世界一のゴッドハンドを持つという医者さんがしてくれました。ぼくは、手術が終わってお医者さんにお礼の手紙を書きました。お父さんが元気だったころは、ぼくたちは、足摺や大月、四万十川、もちろん黒潮町の海で、いっぱい釣りをしました。魚やいかを釣ったり、たこも釣ったこともあります。釣り糸を遠くに飛ばすやり方もお父さんが教えてくれました。釣りに上げたいかをバター焼きにしたり、マヨネーズをつけて食べたり…うまかったあ！お父さん！よくなったなら、釣りにいこう！

それまで、一日一日を大事にして、ぼくもいろんなことに挑戦して頑張るよ！

(入野小学校 4年 宮地 滯依)

二分の一人式を終えて

1月に二分の一人式をしました。夢発表や名前に込めた親の思い、親からの手紙など盛りだくさんの内容でした。夢を発表するときには「きんちょうするー」と思いました。少し早口になってしまいました。スライドでは、みんなの赤ちゃんのころや名前にこめられた意味がわかりました。みんないい名前だし、いい意味だな、と感じました。最後に家族から手紙をもらいました。手紙を読んでもみると、家族のやさしさが伝わってきました。また、最初は嬉しく泣きそうになったけど、最後にも嬉しいことも書いてあつて笑ってしまいました。おもしろかったりうれしかったです。なみだが出た人もいました。家に帰ってから、「いつもありがとう」と言ってお礼の手紙を渡したいと思いました。二分の一人式をやった感じたことは、本当に生まれてきてよかったということです。あと、家族に「ありがとう」の言葉を伝えたいと思いました。二分の一人式を、やってよかったと思いました。

(佐賀小学校 4年 高岡凱風・山崎若菜)

